

Jアラートの自動起動機等の整備による災害情報伝達手段の多重化・多様化		施策番号172
福島復興再生基本方針における該当箇所		府省庁名
頁	55	総務省
章	第3	
節	2	作成年月
項	(10)	平成25年5月
目	②(vii)	
予算措置の状況		
【平成24年度(補正)】 ・防災情報通信設備整備事業(Jアラート整備事業) 2,840百万円【一般会計】 【平成25年度】 ・防災情報通信設備整備事業(Jアラート整備事業) 300百万円【一般会計】 200百万円【復興特会】		
施策の内容		
東日本大震災の教訓を踏まえ、防災対策を強化し、安全で安心して生活できる生活環境を実現できるよう、住民へ迅速かつ確実に災害情報を伝達するため、Jアラートの自動起動機の整備により災害情報伝達手段の多重化・多様化を推進する。 福島県内市町村については、Jアラートの自動起動機未整備市町村における自動起動機の整備に加え、既に自動起動機を整備している市町村においても、多様化の観点から複数の情報伝達手段を自動起動するための経費について全額交付する。		
施策の進捗状況及び今後の予定		
【消防防災通信基盤整備費補助事業】 平成23年度中に92件を交付決定(うち福島県1件(いわき市)は平成24年度中に事業完了済み)。 【防災情報通信設備整備事業】 (平成24年度(補正)) 平成24年度中に115件を交付決定(うち福島県13件)。 平成25年4月末時点で113件交付決定(うち福島県3件)。 (平成25年度) 平成25年5月末に31件交付決定予定(うち福島県11件)。		

的確な気象情報の提供		施策番号173
福島復興再生基本方針における該当箇所		府省庁名
頁	55	国土交通省
章	第3	
節	2	
項	(10)	作成年月
目	②(vii)	平成25年5月
予算措置の状況		
施策の内容		
地域における適切な防災対応に資する適時適切な気象情報の提供を行うとともに、自然災害による被害を軽減するための気象情報の充実を図る。		
施策の進捗状況及び今後の予定		
今後も被災地での防災対応をはじめとする地域のニーズに応じた気象情報の安定した提供を行うとともに、県及び市町村との緊密な連携に努める。		